

1/8 二十歳の門出を祝う 城里町成人式 常北公民館 体育室

平成24年城里町成人式が開催され、平成3年4月2日から平成4年4月1日生まれの新成人281人のうち223人が参加しました。新成人で構成する実行委員会が企画・運営した式典には、町関係者や中学時代の恩師などが出席し、次代を担う若人の門出を祝福しました。式典で、阿久津町長から「生まれ育った郷土である城里町に誇りを持ち、若者の柔軟な発想と知恵により、まちづくり、地域づくりに積極的に参画して行って欲しい。」と激励の言葉が贈られると、新成人代表の海老根幸希さんが「20年間で多くの人との出会い、経験をしたことが、今の私を模(かたど)っており、これからも感謝の気持ちを忘れずに、しっかりと地に足をつけて歩んでいきたい。」と力強く決意を述べました。



はたちのひとこと

- 何歳になっても夢を持って、努力できる大人でありたいと思います。
- 人との繋がりを大切に歩んでいきたい。
- 大人の仲間入りをしました。お世話になった地域や両親に恩返しができるように頑張ります。
- 子どもとしての自分を卒業し、大人として、社会に貢献できる人間になりたいです。
- 城里の地で教えていただいたことを子どもたちに伝えていける大人になれるよう、いっそう努力します。
- いつも支えてくれる家族や友だち、周りの方に感謝し、どんなときでも自分らしく笑顔を忘れずにいたい。
- 幼い頃に思い描いていた「大人」になれているか自信はないけど、これからも一歩ずつ成長していきたいです。

SPORTS

12/10-11

第24回笠間市長杯バスケットボール大会 笠間小学校ほか

近隣のミニバススポーツ少年団(女子)12チームが参加したこの大会で、古内ミニバススポーツ少年団が準優勝の成績を収めました。



▲古内ミニバススポーツ少年団

11/20

地元チームを元気に応援！

ケーズデンキスタジアム

ケーズデンキスタジアム水戸で行われた水戸ホーリーホック対栃木SCの試合に沢山小学校の児童と保護者37人が招待されました。

この事業は、東日本大震災で被災した子どもたちに夢を与えるため茨城県が実施したもので、招待された児童たちは、特別にピッチサイドまで入場が許可され、試合前の練習を間近で見学することができました。



試合中は、保護者とともにメインスタンドから選手たちに向けて熱心に声援を送っていました。

1/19

東京電力に損害賠償を請求

町は、福島第一原子力発電所の事故による放射性物質漏えいへの対応経費について、東京電力に賠償金請求をしました。

今回の請求は、平成23年11月までに町が実施した空間放射線量測定に要する機器購入費や人件費、農産物などの検査委託費などおよそ380万円で、今後も放射能対策に要する費用について賠償請求を行っていく予定です。



1/8

地域防災の決意を新たに 消防団出初式

コミュニティーセンター城里 駐車場

冬晴れの中、新春恒例の「城里町消防団出初式」が開催され、約400人の消防団員が参加しました。

式典では、石崎貞夫団長が「震災の経験を生かし、町民の防火・防災意識の高揚を図ってほしい。」と訓示し、消防団員の士気を高めました。

また、阿久津町長が、東日本大震災や台風15号接近に伴う河川の氾濫等の際、最前線で災害の救援や巡回等に従事した消防団員に感謝の意を表すとともに、「今回の震災を教訓に消防・防災体制の強化・拡充、また、広域的な応援体制の確立に向け、鋭意努力していく。」と防災への決意を新たにしました。

さらに、消防団の活動で功績・功労のあった140人の団員と優良分団が表彰されました。



12/13

プロに学ぶサッカーの楽しさ

沢山小学校

この教室は文部科学省及び公益財団法人日本体育協会が行う「子どもの体力向上啓発事業」の一環として行われたもので、「Jリーグのヴェルディ川崎などで活躍した中村忠さんを講師に招いて行われました。

中村さんは、ボールを使った基本の運動やチームに分かれて行うミニゲームを通して、「サッカーは自分で見て、考えて、声に出し、作戦を練って行動に移す。これは勉強にも通じるところがあるのでぜひ役立ててほしい。」と話していました。

参加した児童は、生き生きとした表情でボールを追いかけ、サッカーを楽しみました。

